



トンボ取りを終えて

第5回テーマ：六甲山の昆虫

セミナー内容

1. 解説
 - ①六甲山上のトンボとその見分けかた
 - ②日本でいちばん美しい赤とんぼ「ミヤマアカネ」について
 - ③六甲山上のいろいろな昆虫
2. 昆虫採集
3. 成果発表

実施日：平成15年8月16日（土）
午後1時～4時
場 所：六甲山自然保護センター内
レクチャールーム



講師：八木 剛さん

プロフィール

昭和43年大阪生まれ
神戸大学大学院農学研究科
修士課程修了
県立人と自然の博物館自然・
環境評価研究部
昆虫共生系研究グループ研究員

昆虫採集のあみをもって集合！

今年の梅雨は長梅雨、しかも雨量が多く沖縄、九州、北海道まで日本各地に残した被害は野菜、新米、酪農まで深刻な問題を残した。

さて、第5回目はお盆の送り火の翌日。夏休みを有意義に過ごす親子そして一般参加者が六甲山の昆虫とふれあっていただく夏のイベントです。

さあー昆虫採集あみをもって集合ー！

六甲山に住む昆虫は？

県立人と自然の博物館研究員である八木先生は、「六甲山にはどんな虫がいますか？」とか「図鑑はなんのですか？」と聞かれるそうです。先生はピンヤリ！とお答えします。「そんなものありません」と。聞いた子供たちは目を白黒させていました。

その答えの理由は昆虫の種類が多い事、どこに居るのかと言う研究があまり進んでいない事、詳しく調べるのが大変な事などが挙げられます。

8月のおすすめ昆虫は3つ

スライドを見ながら六甲山の虫を紹介。今月のおすすめの昆虫は3つです。

◆ミヤマアカネ：日本で一番美しい赤とんぼ

トンボの仲間が一番うつくしいと言われている。羽の真中から外側に茶色い帯模様がついており非常に美しい。オスは尻尾の先から頭まで全身赤くなる。



ミヤマアカネ

◆エゾゼミ：格調高い高原のゼミ



何とも言えず格調高い虫。クマゼミより少し小さくアブラゼミより大きい。タイガースカラー（黒地に黄色）。ギーという単調な鳴き声。

高い山の上にならば分布しておらず、標高800mより上とされています。

◆イナゴモドキ：イナゴのようにイナゴでない

バッタの仲間はさらにイナゴとバッタに分かれ、イナゴモドキはそのバッタに属します。違いは前脚の間の突起（通称のどちんこ）で、イナゴにはあるけれども、イナゴモドキにはこの突起はないそうです。

家族単位で昆虫採集、昆虫リストができた！

いよいよ子供たちの出番！家族単位で出かけました。あみを高く持ち上げ、まるで空を切る様な姿で頑張っていました。「見つけたよ〜！」それぞれが八木先生に昆虫の名前を教えてくださいました。

見つけた昆虫の居場所を地図に書き込んで昆虫リストの完成です。子供たちが見つけた六甲山の昆虫はどれも輝いて見えました。（※尾崎さんにレポートを提供して頂きました。）



アジサイ園前で採集

主催：六甲山自然保護センターを活用する会
後援：兵庫県神戸県民局
兵庫県立人と自然の博物館



テーマ:六甲山の昆虫



第5回市民セミナーの流れ

市民セミナー

1. 講演準備: 12:50~13:05
2. 講師挨拶: 13:05~13:20
3. 解説: 13:20~13:50
4. 昆虫採集: 14:00~14:45
5. 成果発表: 15:30~16:00

3. 解説

- ①六甲山上で観察できる昆虫の紹介
- ②六甲山で採れる今月のおすすめ昆虫
 - ・ミヤマアカネ
 - ・エゾゼミ
 - ・イナゴモドキ

- ③六甲山自然保護センター周辺での虫採りに関するアドバイス

講演のあいさつ(八木 剛さん)



みやまあかねの分布図

「今回は夏休みということもありますので、ちゃんとした勉強はしません。その代わりに皆さんには手と体を動かしていただいて昆虫採集をしていただこうと思っています。子供さんだけでなく大人の方も参加して頂こうと思いますので、その覚悟でお付き合いください」

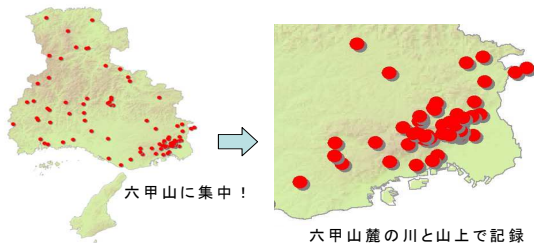
六甲山の昆虫についてのお話

六甲山の一部だけで昆虫が1000種類も

六甲山全体では広すぎるので、極楽茶屋の北側の紅葉谷(国立公園 特別保護地区)という自然が豊かなところで2001年の5月~11月の半年間、月1回15~20名のメンバーで調査を行った。その結果、約1000種類(172科1013種類7865個体)の昆虫が見つかった。六甲山全体ではどれだけ見つかるのか?想像がつかない。

六甲山とミヤマアカネ

昨年からミヤマアカネを見つけたらお知らせくださいというキャンペーン(「みやまあかねリサーチプロジェクト」)を行ったところ、一番多かったのは六甲山周辺。



家族ごとのチームに分かれ昆虫採集

六甲山自然保護センターを中心とした周辺白地図を配布。これに記入してもらうことで、昆虫リストのようなもの下地ができる。

六甲山に多く見られるミヤマアカネ、エゾゼミ、イナゴモドキが採れるかもしれないという期待感を胸に昆虫採集に出発。思い思いの場所で楽しみながら、捕まえた場所を記入していった。



八木 剛さん



松本 英君、佐脇さんご家族



高永さんご家族



アジサイ園にて



昆虫採集した地域(六甲山自然保護センター周辺)

成果発表

自然保護センターに戻り、名前のわからない昆虫は八木先生に教えてもらった。

そして、各チームが白地図に記入したものをOHPシートに転記して発表した。

(結果は成果一覧表として右に示しました)



昆虫を見せ合う子供たち

本日の一番の収穫はアサギマダラ (浅黄斑)

吉澤和生君の採集したアサギマダラは白い部分にりんぷんがついていない透明で美しい蝶。南方系の蝶で、秋になると南へ帰る長距離の渡りをする蝶です。



吉澤 和生君

本日の成果一覧表

(自然保護センター周辺で目につきやすい昆虫リスト)

チョウ	クロヒカゲ スジグロシロチョウ コチャバネセセリ	キンモンガ アサギマダラ キマダラセセリ	キチョウ ジャコウアゲハ
トンボ	ウスバキトンボ オオアオイトトンボ	マユタテアカネ	モノサシトンボ
甲虫	ラミーカミキリ	ヒメコガネ	ミヤマクワガタ
セミ	エゾゼミ (ぬけがら) ヒグラシ (ぬけがら)	コセアカアメンボ	
バッタ	ヒメクサキリ (幼虫) イナゴモドキ (幼虫)	ヒナバッタ ヒシバッタ	
他の虫	ウシアブ		



ミヤマクワガタ

昆虫リストを作ろう

「このように記録しておく、去年はこんな虫が採れたと参考になる。集めてゆくと六甲山自然保護センターのまわりの昆虫という1冊の本ができる。

今日のようなお子さんも含めていろいろな方に探っていただいた昆虫は目につきやすく、手にしやすい昆虫のリストとして非常に意味がある」 (八木)

◆お父さん・お母さんと一緒

今回は6組のご家族の参加がありました。子供さんにもアンケートに回答していただきました。

1. 講演会について

・昆虫のことは身近である割には、詳しいことまではわかっていない事を知りました。・普段の生活でも気をつけて観察すれば「新発見」ができるかもしれない。

2. 自然保護センターについて

・初めて来ました。また寄りたいと思います。
・景色も良く場所としても良かった。

【子供さん向けアンケート】

1. 今日のトンボとり、虫とりはどうでしたか?

・ミヤマアカネはいなかったけど、いろんな虫がいたのでおもしろかった。

2. 六甲山にのぼってみてどうでしたか?

・どこを見ても木ばっかして、きれいだった。
・暗くておもしろかったよ。・森がいっぱいでおもしろかったよ。

3. 今日楽しかったこと、よかったことは?

・色々な虫がとれてよかったです。・新しい虫の名前を教えてもらったのでうれしかった。



竹島さん、デジィ君、伴恵さん 尾崎さん、サイナンさん、松本さん

◆配布&参考資料:

- ・「六甲山の昆虫」・「周辺白地図」・「みやまあかねリサーチプロジェクト」兵庫県立人と自然の博物館
- ・「セミナーガイド」兵庫県立人と自然の博物館
- ・赤トンボの標本

兵庫県立人と自然の博物館
〒669-1546 三田市弥生が丘6丁目
TEL: 079-559-2001 FAX: 079-559-2007
URL: <http://hitohaku.jp/> Mail: root@hitohaku.jp

◆参加者: 31名 (順不同・敬称略)

竹島 智美/隆太/将太/晃太 松本 由貴/英
佐脇 天/星 高永 徹/美保/優衣/直樹
サイナン 成光子/デジィ/ジェナー 浮島 伴恵
吉澤 正浩/和生 北山健一郎 山田 良雄
松井 光利 桑田 結 中川貴美子 八木 剛
藤井宏一郎 堂馬 英二 平本 苗実 小野 律子
松島 朋子 尾崎 尚子 米村 邦稔
(幼児4名、小学生7名、大人20名)